

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学類等	科目名	担当教員	単位数	教員の实務経験の有無
基盤教育	健康運動科学実習	佐藤 浩明(非)	1	久光製薬スプリングス女子バレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。
基盤教育	中国語基礎Ⅰ	金 敬雄	1	日中両言語の通訳、翻訳の経験がある。中国語の読解、中日対訳、コミュニケーション要領などに生かしていきたい。
基盤教育	食品の機能	熊谷 武久	2	前職の食品会社研究・管理職としての経験を活かし、基礎と応用を意識した講義をします。
基盤教育	知的財産の基礎知識	横島 善子	2	特許庁で特許審査官として特許審査の実務を担当したほか、弁理士として他大学で特許関連実務を担当後、本学で現在、知的財産全般に関する実務を担当している。また、民間企業で研究職として技術開発（及び自己が成した発明の特許取得等）に携わった実務経験もあり、これらの実務経験を生かして、事例に基づいてわかりやすい特許・著作・商標等知的財産全般の授業を行う。
基盤教育	データサイエンス実践演習	加藤 穂高	2	担当教員は民間シンクタンクでコンサルタントとして、社会福祉・まちづくりなどの案件に従事してきた。本授業では、その経験を生かし、指導を行う。
基盤教育	むらの大学Ⅰ	前川 直哉	2	担当教員はNPO活動等を通じ、地域課題解決の取組みや自治体・企業・学校等との協働を行ってきた。本授業ではその経験を活かし、学生を指導する。
基盤教育	人体の構造と機能及び疾病(医学概論)	岡 史仁	2	本科目の担当教員は、診療所を開設し、長年に渡って小児を中心に一時応急処置に携わってきた。講義では、教科書的な知識のみならず臨床場面での経験談も交えて、疾患や治療について、より理解が深まるように努めている。
基盤教育	精神疾患とその治療	片山 規央	2	本科目の担当教員は、精神科専門医・指導医として児童・思春期～成人～老年期に至るまでの幅広い精神疾患の診療に長年数多くあたってきた。講義では教科書的な知識のみならず、臨床場面での経験談も交えて、疾患や治療について、より理解が深まるよう努めている。
人間発達文化学類	音楽科学習指導論	小川 裕(非)	2	福島大学教育学部附属小学校及び福島県の県中及び県北域内の小学校において学級担任及び音楽専科教員として勤務した後、福島県の県中及び県北域内の小学校において教頭、校長職を務めた。小学校音楽教員の経験を生かし、実践事例をもとに、子どもたちの学力向上に向けた指導改善、教員の授業力向上などの視点を含めた授業を構成する。
人間発達文化学類	子どもの生活と遊び	宗形 潤子	2	実務経験：小学校教員18年（低学年担任6年）指導主事2年を生かし、学校現場の実態や現状について伝え、より実践的な学びとなるよう支援する。
人間発達文化学類	子どもの造形活動	渡部 憲生	2	小学校教員としての実務経験を生かし、学校現場の現状や児童の実態等を踏まえた指導方法の工夫改善の視点、授業で扱う材料・用具の扱い方の要諦等について具体的に指導する。
人間発達文化学類	社会科学習指導論	渡邊 健順	2	中学校や教員研修機関での実務経験、小学校での研修指導の経験を生かし、指導技術や教材開発について具体的に指導する。
人間発達文化学類	子どもと道徳	中野 真悟	2	公立の小学校・中学校で勤務した経験を活かし、知的理解に終始することなく、教育現場の実態を踏まえた指導の在り方を考察できるようにする。
人間発達文化学類	感情・人格心理学	下斗米 淳(非)	2	企業や自治体での講演や最高裁判所所管の家庭裁判所調査官及び少年鑑別所心理技官専門試験委員を務めている。加えてJTや東京慈恵医科大学と依存・行動嗜癖に関する共同研究を行っている。
行政政策学類	社会計画論	岩崎 由美子	2	JA系統組織のシンクタンクでの勤務経験をもち、農山村地域での実態調査や報告書の取りまとめ方、ワークショップの運営方法等についても講義を行う。
行政政策学類	労働法Ⅰ	原 昌登(非)	2	国の審議会（労働政策審議会）の委員や自治体の会議体の委員として、実際の法改正や条例制定に関する議論に参加した経験をもっています。そうした経験を、授業における立法・法改正に関する解説等に活かします。
行政政策学類	考古学Ⅱ	柳沼 賢治(非)	2	30数年にわたり、考古学研究の基礎を成す、埋蔵文化財の発掘調査・資料整理・報告書作成・資料の活用・展示公開等々の業務に携わった経験を授業に活かしたい。
行政政策学類	博物館情報・メディア論	清水 裕介(非)	2	有（公益財団法人多摩市文化振興財団バルテノン多摩歴史ミュージアム学芸員、公益財団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館学芸員ほか）
経済経営学類	入門マクロ経済学	石川 大輔	2	国際通貨基金（IMF）と財務省での実務経験に基づいて、授業ではマクロ経済学が現実の経済政策と密接につながっていることを伝えていきたいと考えています。
経済経営学類	地域と経済	吉田 樹	2	国や地方公共団体の交通、観光分野の各種委員会委員への参画、公共交通事業者や観光、商工関連団体とのプロジェクトにも数多く取り組んできた経験を本講義に紹介する具体事例に活用する。
経済経営学類	経営情報分析	根建 晶寛	2	前職の金融機関における業務経験及び過去に在籍していた非常勤先の会計専門職大学院での論文指導講座の経験をふまえて経営情報分析の講義を担当します。
経済経営学類	原価計算Ⅱ	高橋 宏和	2	公認会計士・税理士として複数の企業の会計監査・税務申告を行っており、企業に対して日常的に原価計算のレクチャー・アドバイスをを行っている。
共生システム理工学類	経営工学	石川 友保	2	製造業やシンクタンクでの勤務経験を有する
共生システム理工学類	生産管理概論	寛 宗徳	2	製造業等の技術指導、人材教育を行っており、授業に一部取り入れている。
共生システム理工学類	経営情報システム	董 彦文	2	多数の企業において情報システムの開発に携わってきたので、実用上の有用性も重視し、授業を進める。
共生システム理工学類	地下水盆管理学	柴崎 直明	2	福島大学赴任前に民間コンサルタント会社で経験した地下水業務（国内、海外）の経験を活かし、実際の地下水調査や地下水盆管理の方法を授業で紹介する。
食農学類	農業工学	原田 茂樹	2	国立環境研究所や中山間地研究センターでの実務経験がある。
食農学類	農業経営学	福田 洋介	2	農林水産省職員として、農業経営の安定化に向け、東日本大震災の被害を受けた農業者に対し日本政策金融公庫等が融資する際の償還期限の3年延長、物価高騰等により農業経営上の影響を受けた農業者に対し日本政策金融公庫等が無利子で融資する施策に取り組んだ経験を有する。
食農学類	協同組合学	小山 良太	2	株式会社マルシェF代表取締役社長を兼務し、福島県産農産物の6次産業化促進と新規市場開拓、マーケティングを実施。
食農学類	森林利用学	藤野 正也	2	民間企業において全国の森林組合、林業会社等約20社への経営コンサルティングを行う。森林利用、林業経営、森林生態などの森林管理手法や、林業税務に関する実務者向け研修会の企画・運営・講師を10年以上担当する。労働安全性を高める林業作業システムの開発に携わる。県職員として自然公園管理の研究業務を担当する。
食農学類	農業簿記論	福田 洋介	2	全講師が税理士で実務の経験を有している。